

# 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン競技日本代表発表 メディア・ブリーフィング

2021年6月22日

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)



第32回オリンピック競技大会(2020/東京)  
日本代表選考基準



## トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

### トライアスロン競技日本代表選手・選考基準設定の概況と目的

公益社団法人日本トライアスロン連合(以下、「JTU」)は、JTU定款第4条(事業)第1項3号により、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)(以下、「東京2020大会」)トライアスロン競技の日本代表選手・選考基準(以下、「本基準」)を策定する。

本基準は、ワールドトライアスロン(国際トライアスロン連合)の定める出場資格システムに基づき、東京2020大会・トライアスロン競技男子個人種目、女子個人種目及びミックスリレー種目でもっとも活躍が期待できる選手の選考を行い、最高の成果をあげることが目的とする。

開催国である日本は、ワールドトライアスロンの定める出場資格を満たしていることを前提に男女各2名(計4名)及びミックスリレー(1チーム)の出場枠を有している。そのため、JTUは国別出場の最大男女各3枠獲得(合計6名)を目指しながら、代表選手を選出することとする。

東京2020大会での目標は、いずれもメダル獲得を目指すものとする。ただし、現在までの国際競技力の情勢から次の優先順で目標を設定し、ベストパフォーマンスを達成する。

・個人種目に出場する選手で構成するミックスリレー(男女各2名)は、2018年12月26日時点、ワールドトライアスロンミックスリレーオリンピック出場資格ランキングで7位であり、出場予想が15チーム前後であることから、3位以内(メダル獲得)の実現に向かい、8位以内を確保する。

・女子個人種目は、現在ワールドトライアスロン個人オリンピック出場資格ランキング30位以内が2名であることから、目標を3位以内とし、レース展開により8位以内確保を目指す。

・男子個人種目は、現在ワールドトライアスロン個人オリンピック出場資格ランキング30位以内が0名、140位以内が3名であることから目標を8位以内とし、レース展開により12位以内確保を目指す。

(2018年12月26日策定)

### 選考・競技の実施概要

1) 選考基準適用の対象期間	2019年5月11日(土)～2021年6月14日(月)予定
2) オリンピック競技会場(スタート・フィニッシュ)	東京都港区 お台場海浜公園(全種目共通)
3) 開催日・競技種目(オリンピックトライアスロン競技)	・2021年7月26日(月) 男子・個人決勝 ・2021年7月27日(火) 女子・個人決勝 ・2021年7月31日(土) ミックスリレー・決勝(男女各2名)

## トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

### 出場枠と出場資格

1)出場枠(個人種目・ミックスリレー)	男女各3名迄(開催国に男女各2枠が自動的に与えられる)
2)出場資格	・日本国籍を有し、公益財団法人日本オリンピック委員会(以下、「JOC」)の派遣基準を満たしていること。 ・ワールドトライアスロン個人オリンピック出場資格ランキング(2021年6月14日時点)が140位以内であること。

### 選考対象大会と評価(男女共通)

1	オリンピック・クオリフィケーションイベント(2019年8月/東京)(以下、「東京OQE」) *スタンダードディスタンス(以下、「STD」)
2	世界トライアスロンシリーズ(以下、「WTS」)(1大会)2019年7月:ハンブルグWTS(ドイツ)*スプリントディスタンス(以下、「SP」)
3	ワールドトライアスロンチャンピオンシップシリーズ(以下、「WTCS」)(1大会)2021年5月:横浜WTCS(日本・横浜)*STD

\*選考対象大会の評価条件:

本基準で適用する出場選手から大会のレベルを算出するクオリティオブフィールド係数基準(以下、「QF係数」)及び大会の定員に対する出場率(80%を基本とする\*予選・決勝形式の場合は決勝進出人数)により、大会の高低を評価する。

\*特例1: 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、出場選手からの大会のレベルを評価するために、前述 1)②の横浜WTCS(2021年5月)において QF 係数基準で指定のポイント※1)を下回る場合は、選考対象大会としての評価は行わない。※1)女子は 79.9pt(19 ハンブルクと同ポイント)、男子は 65.5pt(東京 OQE と同ポイント)と過去の選考大会実績から算出。

\*特例2: 前述1)②の横浜WTCSにおいて、特例1で示した基準が満たない場合、または、開催中止等(詳細[3]3)参照)があった場合はリーズWTCS(2021年6月)\*STDを選考対象大会とする。

\*特例3: 横浜WTCS(2021年5月)及び代替え候補のリーズWTCS(2021年6月)の両大会が開催中止等や特例1で示した基準が満たない場合は、選考対象大会の代替えは行わず、東京OQE(2019年8月)とハンブルク(2019年7月)の2大会を選考対象大会とする。

#### <変更に関する補足説明>

・本選考の理念として、選考対象大会の3大会はレベルの高いレースでの選考を掲げており、新型コロナウイルス影響で出場選手レベルの大幅な低下が派生する可能性も考慮し、追加大会の大会レベルをQF係数で定量評価を行う。設定のラインは、すでに終了した選考2大会と同水準のレベル保ちつつも、選考大会として可能な限り機会を設定するために、過去2大会のQF係数基準から男女それぞれ低い大会のポイントを採用した。

\*QF係数基準実績:2019ハンブルク(女子79.9pt、男子97.8pt)2019東京OQE(女子91.9pt、男子65.5pt)

## トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

### 選考方法と評価

第1優先候補	東京OQE1位～3位の最上位1名を選出する。
第2優先候補	次のいずれかを満たす者から、QF係数を適用した順位の順に出場枠に達するまで選出する。 a)東京OQE6位以内(前述の①を除く) b)ハンブルグWTS1位～6位 c)2021横浜WTCS1位～6位
第3優先候補	次のいずれかを満たす者から、QF係数を適用した順位の順に出場枠に達するまで選出する。 a)東京OQE7位～9位 b)ハンブルグWTS7位～9位 c)2021横浜WTCS7位～9位
第4優先候補	次のいずれかを満たす者から、後述の「評価項目」の順に判断して、出場枠に達するまで選出する。 a)東京OQE10位～12位 b)ハンブルグWTS10位～12位 c)2021横浜WTCS10位～12位
第5優先候補	次のいずれかを満たす者から、後述の「評価項目」の順に判断して、出場枠に達するまで選出する。 a)東京OQE13位～16位 b)ハンブルグWTS13位～16位 c)2021横浜WTCS13位～16位

<変更に関する補足説明>各優先候補の位置付け

第1優先候補:個人種目でメダルを狙える選手を選考する。

第2～第5優先候補:個人種目でメダル・入賞を視野にリレー種目も戦える選手を選考する。第6優先候補:リレー種目で最良のパフォーマンスの発揮が期待できる選手を選考する。

## トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

### 評価項目

第1評価基準	スタンダードディスタンス(以下、「STD」)ではスイムの第1集団、又はスイムトップから20秒以内でスイムフィニッシュしていることを指標とする。 スプリントディスタンス(以下、「SP」)ではスイムの第1集団、又はスイムトップから15秒以内でスイムフィニッシュしていることを指標とする。
第2評価基準	STDではバイクの第1集団、又はバイクフィニッシュトップから30秒以内でフィニッシュしていることを指標とする。SPではバイクの第1集団、又はバイクフィニッシュトップから20秒以内でフィニッシュしていることを指標とする。
第3評価基準	総合トップタイムから2.5%以内でフィニッシュしていることを指標とする。
第4評価基準	ラントップタイムから2.5%以内のタイムを指標とする。
第5評価基準	評価項目に当てはまらないときは、QF係数を適用した順位の上位を選出する。



## トリアスロン競技日本代表選手・選考基準

### 第6優先候補

前述①から⑤で選出に至らないときは、次のa)b)c)d)e)f)g)h)大会(優先順なし)から、「個人種目の順位」、「リレー評価項目」、前述の「評価項目(第5評価基準は除く)」を総合的に判断して、出場枠に達するまで選出する。

男女共通対象大会	ITU世界トリアスロンミックスリレーシリーズ(以下、「MRS」)(出場選手) ・2019年6月:ノッティンガムMRS(イギリス) ・2019年7月:ハンブルグITU世界トリアスロンミックスリレー選手権(ドイツ) ・2019年7月:エドモントンMRS(カナダ) ・2019年8月:東京MRS(日本)
----------	--

女子対象大会	男子対象大会
<p><b>WTS(16位以内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年5月:横浜WTS*STD(日本)</li> <li>・2019年6月:リーズWTS*STD(イギリス)</li> <li>・2019年6月:モンリオールWTS*SP(カナダ)</li> <li>・2019年7月:エドモントンWTS*SP(カナダ)</li> <li>・2019年9月:ローザンヌWTSグランドファイナル*STD(スイス)</li> </ul> <p><b>前述1)の選考対象大会3大会(20位以内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年8月:東京OQE</li> <li>・2019年7月:ハンブルグWTS</li> <li>・2021年5月:横浜WTCS*STD(日本)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     &lt;補足説明&gt;横浜WTCSがQF係数基準を満たし、第1優先～第5優先の選考対象大会となった場合のケース。リーズWTCSが選考対象大会となった場合は入れ替える。                 </div> <p><b>2021WTCS(QF係数順位16位以内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年6月:リーズWTCS*STD(イギリス)</li> <li>・2021年5月:横浜WTCS*STD(日本)</li> </ul> <p>*横浜WTCSはQF係数基準において選考対象大会と認められなかった場合に対象大会とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     &lt;補足説明&gt;横浜WTCSがQF係数基準を満たさずに、第1優先～第5優先の選考対象大会とならなかった場合のケース。                 </div>	<p><b>ASTCアジアトリアスロンミックスリレー選手権(出場選手)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年6月:アジアトリアスロンミックスリレー選手権(韓国・慶州)</li> </ul> <p>*ASTC:アジアトリアスロン同盟</p> <p><b>ITUトリアスロンワールドカップ(以下、「W杯」)(9位以内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年5月:成都・チェンドウW杯(中国)*予選SP/決勝SSP</li> <li>・2019年6月:ウアトルコW杯(メキシコ)*SP</li> <li>・2019年7月:ティサウィバローシュW杯(ハンガリー)*予選SP/決勝SP</li> <li>・2019年9月:バニョレスW杯(スペイン)*SP</li> </ul> <p><b>JTU男子ミックスリレー特別大会(以下、「2020男子特別大会」)(5位以内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年2月:2020男子特別大会(日本・宮崎)*SSP</li> </ul> <p><b>2021年大会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年4月:アジアトリアスロン選手権(日本・廿日市)*STD(1位以内)</li> <li>・2021年5月:横浜WTCS*STD(日本)(16位以内)</li> <li>・特例1)OQR140位内の日本人選手が4名以上出場できることを条件とする。</li> <li>・特例2)横浜WTCSが開催中止等の場合はリーズWTCSを代替大会として設定する。但し、横浜WTCSと同条件とする。</li> <li>・2021年5月(予定):2020男子特別大会(日本・宮崎)*SSP(1位以内)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     &lt;変更に関する補足説明&gt;                      男子はSP・SSPを中心に第6優先の選考評価大会を設定したが、当初予定していた評価対象大会の中止に伴い、STDの廿日市アジア選手権、横浜WTCSを評価対象大会として追加。大会の結果の評価はリレー種目で最良のパフォーマンスの発揮が期待できる選手を選考するために、STD(スタンダード)よりもSP(スプリント)及びSSP(スーパースプリント)を重視する。                 </div>

## トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

### リレー評価項目

STD(スタンダード)よりもSP(スプリント)及びSSP(スーパースプリント)を重視。

・ウェットスーツ着用禁止でのスイムを重視。

・ミックスリレーに適応できる競技力(以下、各走者に特筆して求められる能力は次のとおりとする)。

\*凡例:◎最重要、○重要、△必要

	第1集団維持力	ギャップを埋める スイム力	スピード変化の 対応力	独走力	トランジション能力	安定力	フィニッシュ スプリント力
第1走	◎	—	—	△	◎	◎	○
第2走	◎	◎	○	○	◎	○	○
第3走	△	○	◎	◎	◎	○	○
第4走	△	○	◎	◎	◎	◎	◎

### 対象大会で次のことが発生した場合は、状況を分析し別に審議する。

- 大会が、開催前、開催期間中、競技中に中止されたとき。(競技の中止)
- ワールドトライアスロン基準によるトライアスロンのスイム、バイク、ランのいずれかの距離が短縮されたとき。(距離フォーマットの変更)
- 大会がデュアスロン又はアクアスロンになったとき。(競技フォーマットの変更)
- レース中の予期せぬ事故や上位選手の失格などで順位の変動があったとき。(順位の変動)
- その他、競技結果を左右する特別な状況(荒天や出場選手レベルの大幅な低下など)があるとき。(特別な状況)

#### <解釈に関する補足説明>

d)順位の変動:外的要因による順位変動を想定。レース中での選手間接触でのバイク落車や、怪我などは本考慮の対象外となる。過去事例として、バイクコースの仮設路面の整備不備による落車、コースへの侵入者との接触、上位集団のランコース間違いなどによる順位の変動などを想定している。

## トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

### 選考に係る手順

- 1) オリンピック対策チームは、2021年6月14日予定に決定する国別代表枠決定の後、この選考基準に定めるすべての対象記録を評価し、2020東京オリンピック競技大会・トライアスロン競技代表選手選考委員会(以下、「東京2020選考委員会(仮称)」)に推薦選手(入替候補選手含む)を提出する。
- 2) 東京2020選考委員会は、推薦選手を審査(2021年6月21日)する。
- 3) JTU理事会(2021年6月22日)の承認を得て、JOCに提出する。
- 4) JOCは、派遣手続(ドーピング検査、メディカルチェック等)を経て、日本代表選手としての適性等を判断し、最終承認を行う。

### 留意事項

- 1) 本基準は、大会開催の状況、関連基準の変更・関係各団体との調整などにより、変更されることがある。ただし、その場合は速やかに公示するものとする。
- 2) 選考対象大会は、情報戦略医科学委員会等を中心に記録・分析を行い、東京2020大会選考委員会及び理事会に報告する。
- 3) 入れ替え候補選手(補欠選手)は、男女各2名を本基準に従って選出する。(2021/6/22理事会変更承認)
- 4) ミックスリレー出場選手は代表選手の中から、東京2020大会のリレー競技説明会までにオリンピック対策チームで審議の上、決定し理事会が承認する。
- 5) JTUは、指定のメディカルチェックを要請することがある。

\*東京2020大会トライアスロン競技概要

<https://tokyo2020.org/jp/games/sport/olympic/triathlon/>

\*ITUオリンピック出場資格システム

[https://www.triathlon.org/uploads/docs/FINAL\\_-\\_2018-03-19\\_-\\_Tokyo\\_2020\\_-\\_Qualification\\_System\\_-\\_Triathlon\\_-\\_eng.pdf](https://www.triathlon.org/uploads/docs/FINAL_-_2018-03-19_-_Tokyo_2020_-_Qualification_System_-_Triathlon_-_eng.pdf)

\*ITU個人オリンピック出場資格ランキング基準

[https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport\\_2018-individual-oq-ranking\\_20171210.pdf](https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_2018-individual-oq-ranking_20171210.pdf)

\*ITUMixスリレーオリンピック出場資格ランキング基準

[https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport\\_2018-mixed-relay-oq-ranking\\_20171210.pdf](https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_2018-mixed-relay-oq-ranking_20171210.pdf)



第32回オリンピック競技大会(2020/東京)  
トライアスロン日本代表選手

# トライアスロン日本代表

## トライアスロン 女子日本代表



高橋 侑子  
Yuko Takahashi



岸本 新菜  
Niina Kishimoto



小田倉 真  
Makoto Odakura



二ナー 賢治  
Kenji Nener

## トライアスロン 男子日本代表





## 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン女子日本代表



### 高橋侑子(たかはしゆうこ)

所属 : 富士通  
 登録地 : 東京都  
 生年月日 : 1991年8月27日(29歳)  
 出身地 : 東京都三鷹市  
 出身校 : 私立桐朋女子高等学校→法政大学  
 五輪代表歴 : 初



自国開催のオリンピックに選手として出場させて頂けることを素直に嬉しく思います。5年前に悔しい思いをしました。あれから沢山の方に支えて頂き、ここまで来ることが出来ました。コロナウィルスの猛威は甚大ですが、今の自分に何が出来るのか、しっかりと向き合いながら来たる日に向けて悔いのない準備をしていきます。応援よろしくお祈りいたします。

### Biography

父親からの紹介で小学生から兄と一緒にトライアスロンをはじめ、ジュニアカテゴリーで活躍。

2007年にトンヨンASTCトライアスロンアジアカップでジュニア日本代表として国際大会デビュー。日本学生選手権4度優勝。2014年ブラジリアFISU世界大学選手権に日本代表として選出され、7位に入賞。2016年ニヨンFISU世界大学選手権では念願の世界チャンピオンに輝く。2015年世界デュアスロン選手権7位入賞。

シーズンオフはデュアスロンレースや海外で長期合宿をすることが多かったが、2017年1月からPauloSousaコーチ率いるチームに加入し、現在はポルトガルに拠点を置きトレーニングを行っている。

### 主な成績

2021	ワールドトライアスロンシリーズ(2021/リーズ)	22位 (日本人1位)
	ワールドトライアスロンシリーズ(2021/横浜)	21位 (日本人1位)
2019	第25回日本トライアスロン選手権(2019/東京・台場)	優勝
	ITU世界トライアスロンシリーズ(2019/ハンブルク)	15位
2018	ITU世界トライアスロンシリーズ(2019/横浜)	4位入賞
	第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) 個人/ミックスリレー	金メダル
	第24回日本トライアスロン選手権(2018/東京・台場)	優勝

## 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン女子日本代表



### 岸本新菜(きしもとにいな)

所属 : 福井県スポーツ協会・稲毛インター  
 登録地 : 福井県  
 生年月日 : 1995年11月30日(25歳)  
 出身地 : 埼玉県川越市、神奈川県横浜市  
 出身校 : 日本大学藤沢高等学校→日本体育大学  
 五輪代表歴 : 初



今は素直に嬉しいという気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。  
 自分は今回初出場となります。選ばれたからには、しっかり準備をし、今までやってきたことを武器にチャレンジャーとして恐れずに世界と戦いたと思います。そして応援して下さる皆さんにしっかりと戦っている姿を見せたいです。応援よろしくお願いします！

### Biography

幼少期から水泳を習い、小学生で友人の勧めからトライアスロンと出会う。

中学・高校生時代は陸上やバレーボールなど様々なスポーツを経験。

日本体育大学進学後トライアスロン部に入部し本格的に競技をはじめ、インカレ団体4連覇、個人3位。

2018年から福井県スポーツ協会に所属し、稲毛インター(千葉県)に拠点を置きトレーニングを行っている。

### 主な成績

2021	ワールドトライアスロンシリーズ(2021/リーズ)	27位 (日本人2位)
	ワールドトライアスロンシリーズ(2021/横浜)	27位 (日本人2位)
	ワールドトライアスロンカップ(2021/ウアトゥルコ)	8位入賞 (日本人1位)
2019	第25回日本トライアスロン選手権(2019/東京・台場)	2位
	ITUワールドトライアスロンカップ(2019/威海市)	8位入賞
	NTTASTCTトライアスロンアジアカップ(2019/高松)	優勝



## 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン男子日本代表



### 小田倉真(おだくらまこと)

所属 : 三井住友海上  
 登録地 : 東京都  
 生年月日 : 1993年7月20日(27歳)  
 出身地 : 東京都小平市  
 出身校 : 日体荏原高校→日本体育大学  
 五輪代表歴 : 初



代表選手に選ばれたからには責任と自覚を持って、引き続き一か月後の本番に向けて準備していきたいと思います。  
 皆さん、いつも応援ありがとうございます。  
 これからもよろしくお願いします！

### Biography

小学3年生から高校3年生まで9年間水泳を行う。  
 日本体育大学入学後にトライアスロン部に入学し、競技をはじめた。  
 卒業後、2017年三井住友海上へ入社、トライアスロン部に所属。同年、ASTCアジアカップ大阪城大会と村上大会、アジアトライアスロン選手権パレンバン大会で2位、日本トライアスロン選手権で3位。

### 主な成績

2021	ワールドトライアスロンシリーズ(2021/リーズ)	12位 (日本人1位)
	ワールドトライアスロンシリーズ(2021/横浜)	16位 (日本人1位)
2019	第25回日本トライアスロン選手権(2019/東京・台場)	3位
	NTTASTCトライアスロンアジアカップ(2019/ポカラ)	優勝
	NTTASTCトライアスロンアジアカップ(2019/徳興市)	2位
2018	ITU世界ミックスリレー選手権(2018/ハンブルク)	7位入賞 (第4走)

## 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン男子日本代表



### 二ナ一賢治(になーけんじ)

所属 : NTT東日本・NTT西日本  
 登録地 : 山梨県  
 生年月日 : 1993年5月26日(28歳)  
 出身地 : オーストラリア・パース  
 出身校 : カーティン大学、西オーストラリア大学(2大学学位取得)  
 五輪代表歴 : 初



今日の代表発表はとても嬉しいです。  
 これからも引き続き強化合宿でしっかり練習し、本番に向けて準備をしていきます。  
 全力で頑張りますので、応援よろしくお願いします！

### Biography

1993年西オーストラリア州・パース生まれ。オーストラリア人の父と日本人の母を持つ。幼少期からサッカーやテニスなどの多くのスポーツに打ち込み、13歳でトライアスロンに出会い、18歳からトライアスロン1本に集中して取り組むようになる。

2018年12月より日本トライアスロン連合所属としてレースに参戦。JTU強化指定選手としてワールドカップ、世界シリーズを中心にレースに出場。2020年日本選手権で初出場、初優勝を飾る。

2021年4月1日付けで日本国籍取得。

\*2018年3月～2018年12月は国登録移行期間としてITUフラッグでレース参加

### 主な成績

2021	JTU男子スーパースプリント特別大会(2021/宮崎)	優勝
	アジアトライアスロン選手権(2021/廿日市)	優勝
2020	第26回日本トライアスロン選手権(2020/東京・台場)	優勝
2019	ASTCトライアスロンアジアカップ(2019/汕頭市)	優勝
	ASTCトライアスロンアジアカップ(2019/大阪城)	3位
	ASTCアジアミックスリレー選手権(2019/キョンジュ)	優勝 (第4走)

## 入替候補選手



佐藤 優香  
Yuka Sato

所属: トーションパートナーズ、  
NTT東日本・NTT西日本、チームケンズ  
登録地: 山梨県  
生年月日: 1992年1月18日(29歳)



井出 樹里  
Juri Ide

所属: スポーツクラブNAS  
登録地: 神奈川県  
生年月日: 1983年6月9日(38歳)

## トライアスロン女子 入替候補



北條 巧  
Takumi Hojo

所属: 博慈会、  
NTT東日本・NTT西日本  
登録地: 東京都  
生年月日: 1996年4月7日(25歳)



古谷 純平  
Jumpei Furuya

所属: 三井住友海上  
登録地: 東京都  
生年月日: 1991年5月18日(30歳)

## トライアスロン男子 入替候補



## 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン競技概要

## 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)

# トライアスロン競技概要

### 1. 実施競技種目と日程

トライアスロン競技・個人男子	2021年7月26日(月)6:30-9:00
トライアスロン競技・個人女子	2021年7月27日(火)6:30-9:05
トライアスロン競技・混合リレー	2021年7月31日(土)7:30-9:25

### 2. 会場

スタート・フィニッシュ:お台場海浜公園

### 3. 距離

個人 (女子/男子)	混合リレー (女子→男子→女子→男子) ※距離は1人当たり
水泳(スイム)1.5km (0.95km+0.55km)	水泳(スイム) 300m
自転車(バイク)40km (5km×8周回)	自転車(バイク)6.8km (3.4km×2周回)
ランニング(ラン)10km (2.5km×4周回)	ランニング(ラン)2km (1km×2周回)

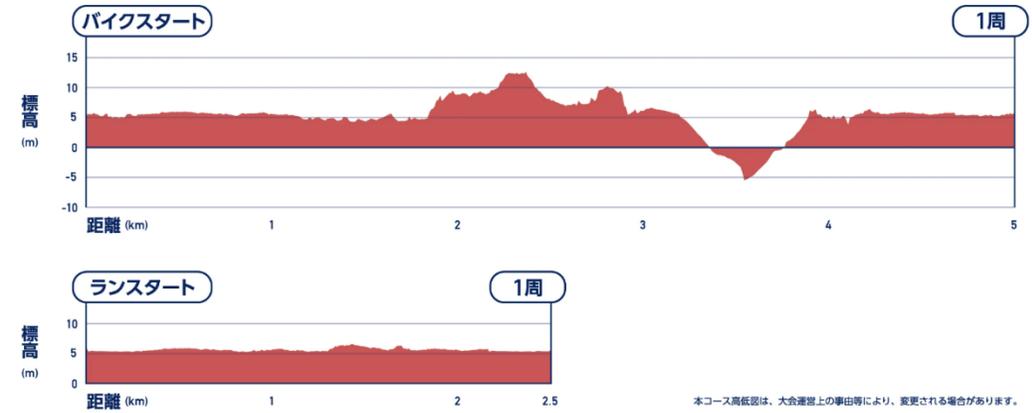


トライアスロン会場イメージ(TOKYO2020公式サイトより)  
<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/venues/odaiba-marine-park>



# 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン競技概要

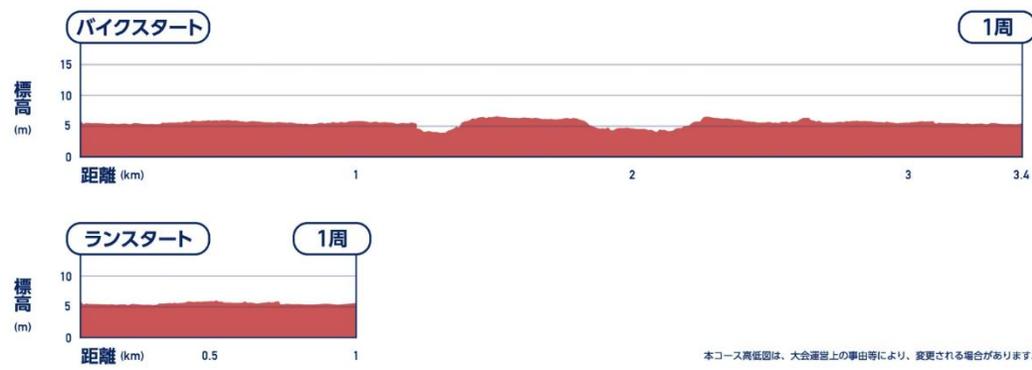
## コースマップ(個人)



トライアスロン競技イメージ  
(2019TokyoITUWorldTriathlonOlympicQualificationEvent)©TommyZaferes/WorldTriathlonMedia

# 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) トライアスロン競技概要

## コースマップ(混合リレー)



混合リレー競技イメージ  
(2019TokyoITUWorldTriathlonOlympicQualificationEvent)©TommyZaferes/WorldTriathlonMedia

